

★私たちが二杉幼稚園の職員です★

よろしくおねがいします(*^_^*)/♪

令和2年9月

★園児が購読している絵本 8・9月号★

年長 9月号「こめつぶぼうや」

こめつぶぼうやの家族7人は、中村家の台所の柱の穴の中に住みついています。中村さんの奥さんはお料理が上手で、秋のお月見団子をいただきに行くことになり、紐をつたって穴から抜け出てきます。しかし、ぼうやだけは、あまりにも小さかった為、ざるの間に引っかかって……そこから苦難の冒険が始まります。しかし、こめつぶぼうやの愉快的な踊り、天真爛漫さで家族の所に戻る事が出来たという、心温まる楽しい絵本です。年長組さんの皆さんにとっても大好きな絵本になることでしょう。

作者の「かなざわ めぐみさん」は、祖母の家の台所で“榭”を見つけ、その榭は角がすり減って丸くなり、長い間使い込まれた榭を見ていると「おばあちゃんは、この榭で毎日家族の為に美味しいご飯を作っていたのだなあ」と懐かしく感じたと言っています。

「私も父方の祖母の家で同居して(小学生の時)いた頃(大きな瓶の中から“カタモチ”〈山形の方言です〉をおやつで頂いたこと)、祖母のやさしい笑顔を思い出し胸がいっぱいになりました。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

～絵本画家「赤羽末吉」の伝記を読んで～

代表作「スーホの白い馬」「かさじぞう」等で知られる絵本画家「赤羽末吉」。1980年 日本初の国際アンデルセン賞に輝いた画家である。この伝記の著者は赤羽末吉の三男 研三の妻(赤羽茂野)が長年に渡り、夫(研三)と原画その他の記録を整理され、現在は(赤羽末吉)研究者の第一人者として義父の生涯と作品の魅力を人々に伝える為、講演活動を行っている。是非私もお目にかかり拝聴したいと思う。

特に私の大好きな絵本A「かさじぞう」B「スーホの白い馬」その他日本の神話集『くにのはじまり』『やまたのおろち』等あるが、伝記によると雪国 秋田の男鹿半島、新潟の直江津等、日本の雪の繊細で陰影に富んだ美しさ等を赤羽の優れた感性で感じとり「かさじぞう」が表現されたそうです。また、「スーホの白い馬」は満州から命がけて持ち帰った“内モンゴルの資料”が存分に生かされ、モンゴルを描きたいという義父(赤羽末吉)の夢は24年の月日を経て大きく実を結んだとの事です。

令和2年4月に発行されたこの伝記はP589に渡り、プロローグからエピソードまで第6部に分かれております。私はまだ5分の1、乱読したのみです。続きは少し時間をかけて「赤羽末吉」の一生を一字一字丁寧に愛読したいと思う。



栗原 和子

(くいほら かずこ)

みずがめ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

年長; 9月号「こめつぶぼうや」

穴の開いた柱の中に「こめつぶぼうやの家族が住んでいる」と思い込んで読んでいました。幼少期、親の実家は、牛小屋や馬小屋が母屋の中に一緒になっていて、広い土間や台所の柱はかなり年代物で、黒光りしていたり、節の所の穴に指を入れたりしていたことを思い出しました。その昔の出来事と重なって、私は本当にあったお話だと思って読んでいました。でも、架空の話だよと一言……この絵本を通して昔の思い出に触れることが出来たことに懐かしさを感じました。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

最近のことではないが、ある卒園生の作文を読ませてもらう機会があった話です。小学生になったI君の幼稚園の時の思い出から「おいしい きおく」の作文を読ませていただき感無量になったことです。作文は、正面玄関に掲示した後、絵本の部屋へ、そして今は職員用部屋の柵のドアに掲示してあります。何度読んでも、目頭が熱くなる内容。文章構成、言葉の表現力が、その場面を思い起こさせてくれることに、重ねて感動し、一人涙してしまいました。作文の最後はお母さんとのやり取りが出てきます。その場面も目に浮かぶようです。ご家庭の温かさを感じ、またまた感動の涙です。表現豊かな文章なので皆さんにも読んでいただきたいと思いました。



稲葉 幸子

(いなば さちこ)

かに座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

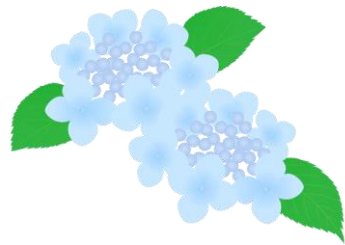
ちいさなかがくのとも 年中版 8月号 【せみのぬけがら】

「あれ、木に何かくっついてるよ。何だろう？……わっ、むし？」夏のある日、女の子が公園の木にくっついた茶色の“むし”をつかまえました。“むし”は草の葉裏や、ベンチの下などでもみつかります。この絵本は、女の子と【せみのぬけがら】との初めての出会いを描いたものです。是非、【せみのぬけがら】を探してみてください。きっと、女の子と同じ、嬉しい気持ちになりますよ(*´`*)

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

先日、孫が1歳の誕生日を迎えました。誕生日会当日は、一升餅、選取りカード、スマッシュケーキ(手づかみでホールケーキを食べること)と私の子育てしている頃にはなかったイベントがたくさんあり、驚きと新鮮さで楽しい1日を過ごしました。

1歳になった孫の様子は、自我が芽生えてきました。「あー！あー！」「ばばばばー！」等と言葉にはなっていませんが、一生懸命に自分の気持ちを周りにいる大人たちに伝えようとしています。孫は自分の気持ちを受け入れてもらえたら満面の笑みを浮かべ、思いと違ったら怒ると、単純な表現ではあるが、「こんなに小さくても自分の思いをしっかり持っていて、伝えようとする意欲があるのだな」と感動しました。また、自分の思いを伝えようとする孫を見て、二杉幼稚園の子どもたちも言葉や態度で表現している様々な思いを、受け止め、子どもたちが、自由に自分の思いを表現できる環境をつくっていききたいなと思いました。



中山 年江

(なかやま としえ)

いて座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

こどものとも 年少版 9月号 「じいじとぼく」 池谷 陽子 作

くまのじいじと孫のくまが、ふたりで一日を過ごします。森へ出かけて木のいすを作ったり、じいじに修理してもらった自転車に乗って、孫のくまががじいじのために花を集めに行ったり、ブルーベリーをたくさん摘んでジャムを作ったり……。最後は一緒にお昼寝です。おじいさんと孫のあたたかい交流を、やさしいタッチで描いている絵本です。



★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

子どもたちと第2園庭に行った時のことです。「先生、この穴なに？」と聞いてきた子がいました。木の下に直径1cmから2cmの穴が無数空いており、不思議に思ったのでしょう。「上を見てごらん」と木の枝を指さすとセミの抜け殻が4～5個ついていました。「これは、セミさんが出てきた穴だよ。」と言うと、どうして木の上で泣いているセミが穴から出てくるのか不思議だったようです。周囲で遊んでいた子たちも集まってきて、「どうやって穴をあけたの？」「(セミの抜け殻の中に)どうやって入ってたの？」といろいろ聞いてきました。また、「今、泣いているセミさんは、みんなが生まれる前から土の中にいたんだよ。」と言うと「え～！」とびっくりしていました。不思議がいっぱいの子どもたちです。先日、「こころの時代～宗教・人生～ NHK」で、レイチェル・カーソンの本の翻訳者である上遠恵子さんが「センス・オブ・ワンダーと生きて」というテーマでお話をしていました。子どもたちのことを思い浮かべながら見入ってしまいました。



小橋 久美子

(こはし くみこ)

いて座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

かがくのとも 年長版 9月号 「“ヤマムユ” まゆをつくるむし」

何度も見たことがある“ヤマムユ”が、こんなにもきれいなまゆを作る虫だと知り、大変驚きました。だっぴを繰り返した幼虫が、いざ“まゆ”を作る時の過程のすごさ…

3日間もかけ、糸をだし続け作り上げる“まゆ”の美しさ、本当に素晴らしいです！！
今度ぜひ実物の“まゆ”を見て、その神秘さを感じたいです。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

1学期からずっと子ども達はカブトムシを飼育してきました。

夏も終わりに近づき、カブトムシが寿命を終えていき、観察ケースの中も淋しくなってきた今日この頃です。しかし、先日、観察ケースの中に卵と幼虫を見つけました！白く、2～3mmくらいの大きさの卵が1つ、また1つ…そして、まだまだ小さいけれど幼虫になっているのもいてビックリしました。

卵を産み、死んでいくカブトムシが、しっかり次の新しい命へつなげていることを実感し、感動しました。これからは幼虫がどんどん大きくなり、サナギになるのを楽しみに観察していきたいと思います。



渡邊 花枝

(わたなべ はなえ)

おひつじ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

年中版 8月号 『おばけのおんがく』

夜に目がさめてしまったさきちゃんは不気味な音を聞いてちょっとこわくなりました。次々聞こえてくる音、、、それはなんと、おばけの奏でる楽器の音でした。

怖いけれど私も聞いてみたいなあ、、、どんな音なんだろうととても興味が湧きました。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

先日、降園バスを待つ間のことです。小さい組のお友達がバスが来るまで待ちきれずに歩き出そうとする姿がありました。それを見て「私は年中さんだからちゃんと座ってられるよ。」と背筋を伸ばし、きちんと待とうとする A 子ちゃんの様子に、年中としての自覚が生まれてきたのだなと感心しました。これからますます自信を持って行動して欲しいと思います。



宮田 貴子

(みやた たかこ)

おひつじ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

かがくのともし 年長版 8月号『カンガルーのふくろ』

カンガルーの赤ちゃんは、1円玉ほどの小ささで生まれ、母親の安全で快適な袋の中で大きく育ちます。やがて袋から出たり入ったりするようになり、母親から色々教わりながら、袋を卒業する準備をします。安全で快適なお腹の袋の秘密とともに、赤ちゃんが様々なことを学び経験していく姿を描いています。つき組のお子さんたちは、お母さんのお腹の中を思い出しているような表情で見えていましたが、その表情はとても素敵でした。是非、親子で一緒に読んで欲しい1冊です。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

久しぶりに『ドリカム』のライブをネット配信で観たのですが、昔良く聴いていた曲の中で、改めて♪何度でも♪を聴いて、その歌詞の素晴らしさに心を打たれました。

★10000回だめでも へとへたになっても 10001回目は何か変わるかもしれない♪

★10000回だめでも かっこ悪くても 10001回目は何かかわるかもしれない♪

★10000回だめで 望みなくなっても 10001回目は来る♪

★明日がその 10001回目になるかもしれない♪(歌詞抜粋)

コロナ禍による不安な時代となった今、誰にでも通じる応援歌ですね…!



手呂内 幸代

(てろうち さちよ)

うお座

★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 8月号 『ひまわり』

ひまわりの種から芽が出て、ページをめくるたびに芽が伸びて、小さな花が咲いて、大きな花へと成長する様子が描かれています。最後のページの「どーん」と絵本いっぱい大きなひまわりの花を見た時は、お友達達の目も自然と大きくなっていました。2歳児さんにとっても「ひまわり=とてもおおきい」というイメージが持てたようです。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

今年の夏休みは、例年に比べてとても短く、中学生の娘たちも宿題に追われ、新型コロナウイルスの影響でお出かけもできず、あっという間の夏休みとなりました。お盆が明けてすぐの始業式でしたが、娘たちからは「もっと休みたかった」という言葉でなく、「また学校が始まってみんなと会えるからうれしい」という言葉が出ました。3月から5月まで自粛で学校に行けなかったのも、休みよりも登校できることの喜びが大きかったようです。

幼稚園のお子さんたちも、夏休み明けニコニコで登園してくる姿を見て、今まで当たり前だったことが当たり前でできなくなってきている世の中で、登校・登園できることがとても幸せなことなのだな…と改めて感じ



寺内 美佳

(てろうち みか)

おひつじ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

こどものとも 年少版 8月号 『せっせせっせ』

何人もの友達が、バケツに砂を入れ、夢中になって「せっせせっせ」と砂を運びます。お子さん達が一生懸命運んでいる姿を見て、周りの大人たちもいつしか手伝い、みんなで大きなおやまができたと喜びます。そこには、笑顔で楽しそうな様子が描かれており、本を見ているお子さんも私も大きなお山作りたいなと好奇心が膨らみます。おやまの上で「やっほー」と叫ぶところを気に入って、もも組さんはこの本を読むと、毎回元気なかけ声を掛けています。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

夏休みの出来事…

コロナウイスのこともあり、遠出の外出を控えていました。「息子たちと何をしよう」と考えた時に、長男が「料理の手伝いをするよ」と言い、厚焼き玉子を作ってくれました。「おいしいね」と言ってみんなで食べると、次の日も得意気になって作ってくれて…それから毎日、私と、長男、次男で分担しカレーやハンバーグ、ぎょうざなどを作りました。

年齢が上がるにつれてできる幅が広がり、自分達から手伝ってくれるようになりました。自分達で作ったご飯はいつもより格別で食欲も増しおいしかった様です。些細なことですが、私にとっても嬉しい出来事でした。



氏田 志保
(うじた しほ)
ふたご座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

えほんのいりぐち 8月号 『ひまわり』

この絵本は、最初「ちいさなたねがとん」から、その後はひまわりの成長に合わせ「どんどこ」の文字が大きくなっていきます。

子どもたちも、ひまわりになったり、一緒に「どんどこ」と言ってみたりと楽しんで読んでいます。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

小学校の高学年の時に家族で「パコと魔法の絵本」という映画を観て号泣したのを今でも覚えています。世界観が舞台のような、絵本のような雰囲気が素敵で大好きです。久しぶりに観ましたが、大人になっても大号泣でした。

決して子ども向けの作品ではありませんでしたが、その当時の私にとって、すごく衝撃を受け、大人になった今でも大好きな映画です。



鈴木 由花
(すずき ゆうか)
おとめ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

えほんのいりぐち 9月号 『とべかぶとむし』

かぶとむしは、いつでも子ども達の人気もの。みんな大好きです。

でも、かぶとむしがどんな日常を過ごしているのか分かりません。その答えがこの絵本にあります。とても細かい作者の描写で、ちくちくする感じが伝わってきます。

木の先端まで来て、空へ向かって飛ぶ瞬間の姿がよく描かれていて、「うわーっ」と思わされました。見事です。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

この頃、時間を作り映画をよく観ています。先日、宇都宮ヒカリ座で「子どもたちをよろしく」という、今社会問題である、子どもの貧困、育児放棄、子どもへの性虐待の内容などの映画を観てきました。とても重く、苦くなる内容でしたが、大人の責任を感じました。

そして、メジャーな映画も観ます。「今日から俺は」も観ました！ひとりで！

楽しく明るい気持ちで帰って来ました。絶対家族に黙っていよう！と思ったのに、夕飯を食べながらつい、話してしまいましたー(笑)



森田 信子
(もいた のぶこ)
おとめ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

えほんのいりぐち 9月号 『とべかぶとむし』 得田 之久さく

子ども達の大好きなカブトムシが精密な絵で生き生きと描かれているので、今にも動き出しそうで、ページをめくるたび、ドキドキしながら読める絵本です。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

今からおよそ 800 年前のローマ皇帝が、言葉を一切教わらなかった赤ちゃんは、どんな言葉を話すようになるのかと、50 人の生まれたばかりの赤ちゃんを集め実験を行い、条件として衣食住、生きるための世話をきちんとするけれど、スキンシップは一切取ってはいけないというもので、その結果は 50 人の子ども達全員が 1 歳の誕生日を迎えることなく死んでしまったということでした。この実験で分かったことは、赤ちゃんには部質的な栄養だけでなく、スキンシップという名の精神的な栄養も欠かせないという事でした。とてもおそろしい実験で現在ではあり得ませんが、赤ちゃんには愛情たっぷり注ぐことが大切だと改めて感じました。



沼尾 恭子
(ぬまお きょうこ)
ふたご座



影山 直恵
(かげやま なおえ)
さそい座

★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 9月号 『とべかぶとむし』

クラスのお子さん達は今、かぶとむしに興味を持っていて、毎朝かぶとむしを観察し、ちょっぴり怖がりながらも触ってみたり、かぶとむしが飛ぶとびっくりしたり大喜びしたり。そんな夢中になっているかぶとむしが9月の月刊絵本に登場です。

「とべかぶとむし」かぶとむしが木の枝に登っていく様子などが描かれています。絵も本物のかぶとむしのようでお子さん達もきっと喜んでくれる1冊だと思います。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

今年の夏はどこかへ旅行をするということもできなかったのもので、家族でそれぞれパズルに挑戦することに。まずは500ピースですが世界最小というもので1つひとつのピースが本当に小さくて…。この500ピースのものは家族で力を合わせて完成しました。

次に夫婦で1000ピース、長男300ピース、次男108ピース、それぞれ喋ることもほとんどなく夢中になって取り組みました。子ども達は幼いころからパズルが大好きで久しぶりにやったことがとても楽しかったようです。お出かけでもなく、ゲーム機でもなくこんなことで楽しめた夏休みも長い子育ての中でとてもよい思い出になったと思える出来事でした。

★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 9月号 『とべかぶとむし』

ページいっぱい大きく描かれたかぶとむしの迫力に、お子さん達の目もくぎ付けでした！！今にも動き出しそうなかぶとむしの姿に、たんぼ組のお子さんと一緒に、私もわくわくしながら読むことができました。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

今年は、コロナウィルスの為に、夏休みが短縮されました。始めて経験する自粛の夏休み。思い切り遊んだり外出出来ない事で、子ども達もストレスを感じているかな…と思いきや、我が家の3人の子ども達はなぜかこの夏「裁縫とミシン」に夢中♪自分たちで本やインターネットから作り方を調べ、マスクやエコバック等を代わる代わる幾つも作って楽しんでいました。出来上がったものを見せてくれましたが、想像していたよりも丁寧に作ってあって私がびっくり！！

短縮ながらも、有意義な夏休みになった事、嬉しく感じました。



赤羽根 真弓
(あかばね まゆみ)
うお座



柴田 裕美
(しばた ひろみ)
てんびん座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

こどものとも 年長 8月号『ひふみよかぞえうた』
自然とリズムをつけて口ずさみそうな本です。
個人的には『ななつ』長いも、納豆、なめくじ…なめこ…と。(笑)
絵を見ると更に笑いが出る…。という、とても印象に残った絵本です。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

夏休み初日、我が家に新しい家族が仲間入りしました。
柴犬(♂オス)の『テン』くんです！！
数年前から柴犬を飼いたいと願っていた息子だったので、STAYHOME をきっかけに、あっという間に話が進み、今回の夏休みは「テンちゃん」が中心となり、暑い中、一日中お庭で過ごす事もありました。
毎日、「テンちゃんおはよ～」から始まり、家に帰ると「ただいま、テンちゃ～ん🍵」と、家族全員の癒しとなっています。

★園児が購読している絵本 8・9月号★

えほんのいりぐち 9月号『とべかぶとむし』
保育室でも飼育している“かぶとむし”。男の子も女の子もみんな大好きなので、本物のようなこの絵本にも大喜びです。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など…)★

先月、長女が部活を引退しました。コロナの影響で、2年生の終わりからずっと大会が出来ませんでしたが、最後の日に顧問の先生が練習試合を組んでくれて、感染予防に気をつけながら応援に行ってきました。
2年生の頃に見た時よりも上達していて、驚いたと同時に大会がないのが本当に残念でした。でも、最後に試合で頑張っている姿が見られたので嬉しかったです。



鈴木 美歩
(すずき みほ)
おひつじ座



鈴木 宏子
(すずき ひろこ)
いて座

★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 9月号『とべかぶとむし』
主役のかぶとむしがとても大きく描かれていて、迫力のある絵本です。お腹に毛が生えていたり、足がギザギザしていたりと、細かな部分がよく分かります。
本物のかぶとむしにはまだこわくて近づけない小さな子たちが楽しめます。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

長女が5月に植えたひょうたんの種。発芽に21日もかかり、ヒョロッとした弱々しい成長の遅い苗でした。地植えし、小さな棚を作りながらも「枯れてしまうかも…」と思っていました。夏を過ぎた今では小さすぎた棚をはみ出し、どこまでも地面を這いつつ、たくさんの花を咲かせ実を付けました。
植物の持つ底力みなないものを感じた出来事でした。

★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 9月号 『とべかぶとむし』

かぶとむしは、足をふんばって木のこぶをこえ、スズメバチを追い払って、木の蜜をなめて、やがて木の枝の先で羽を広げて飛ぶ・・・力強いかぶとむしの姿が描かれています。

毎日、木の回りを探して家で成長。観察につながると良いなと思います。好きになる絵本です。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など・・・)★

今年の24時間テレビは、43回目ではなく、新しい日常という第1回目で始まりました。今年の夏は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント・お祭りがすべて中止になってしまいました。その中で24時間テレビの中でのサプライズ「エール花火」がありました。

栃木市内でも、少し前ですが、緑地公園方面にサプライズ花火が上がりました。今年は諦めていたのですが…。

いつもとは違い、暗くなっている世の中に明るくかがやく花火、それを見て感動したのと共に新しい生活スタイルも取り入れ前を向いて進まなくてははいけないなと思います。



鴛田 里香

(ときた りか)

おうし座



金沢 菜穂子

(かなざわ なおこ)

おひつじ座

★園児が購読している絵本 8・9月号★

こどものとも 年少版 9月号『じいじとぼく』

くまのじいじと孫のぼくが、一日を過ごすお話です。

夏休みが終わり、なんとなく忙しい毎日ですが、このお話を読むと、理想的な一日の過ごし方に妄想が膨らみます。

★最近感動したこと(出来事・TV・映画・本など・・・)★

「となりのトトロ」を夏休み最終日に、家族で観ました。テレビの前に座り、ゆっくりとトトロを見るのは久しぶりで、ふと自分の記憶をたどってみると、今の次女よりも小さい時に初めて見たことを思い出し、とても感慨深く思いました。その後も何度観ても、その度に「メイ」に感情移入し、ドキドキしていた私ですが、母になって早九年。さすがに「メイ」にはなりきれず…。かなり序盤のお母さんの病院へ面会に行った帰り道の「もう少して退院できるだろうって言ってたよ。」「もう少して明日？」のこのセリフに愛しさがあふれウルウルしてしまいました。我が子と言うとカンタのおばあちゃんがしゃべるたびに大笑いして…楽しい夏休みのしめくりとなりました。

★園児が購読している8・9月の絵本★

年中版 8月号 『せみのぬけがら』

お子さんたちとこの本を読み始めたころ、ちょうど外からセミの声が響き始めた頃でした。そして夏休み明け、いざ第二園庭に出てみると、本の通り、セミの抜け殻が木の枝・葉・幹と沢山見つけることができ、お子さんたちと大はしゃぎしました。

作者の高柳さんは、セミの抜け殻は《芸術品》とおっしゃっていますが、その通り！！中は空っぽでも、しっかりと早枝にぶら下がっていて、まるで生きている虫のよう。お子さん達とまだまだ集めたいと思います。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など・・・)★

8月22日(土)、年長の次女と共に、二杉幼稚園にて「夕べの集い」に参加しました。当日の朝から、「まだ行かないの？」と夕方まで繰り返し、待ち遠しくて仕方ない！といった様子でした。大好きな浴衣を着て皆と顔を合わせると、娘は嬉しくて笑顔いっぱい。おみこし担ぎも一生懸命に参加。

前日の夜、「おみこし担げるかな？重たいんだよなあ。」と話していた娘。本番は力いっぱい担ぐ堂々とした立派な姿を見せてくれました。「年長になったんだなあ」とジーンと胸が熱くなりました。みこしを担ぐワッショイの声は「和を背負う」「和の心をもって平和を担ぐ」という意味もあるそうです。素晴らしい行事に参加出来、本当に良かったと思います。



戸沢 ちひろ

(とざわ ちひろ)

うお座

★園児が購読している8・9月の絵本★

こどものとも 年少版 8月号 『せっせっせっ』

女の子が小さな山を作りました。それを見ていた友達が「せっせっせっ」と土を運ぶのを手伝います。みんなで土を運ぶと、お山はどんどんどんどん大きくなって…。

大人をも巻き込み、大きな山をつくる様子を描いた楽しい絵本です。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

「鼓動」アース・セレブレーション2020

佐渡を拠点に世界で活躍する太鼓芸能集団「鼓動」をご存じでしょうか？毎年8月佐渡島でアース・セレブレーションというフェスティバルが行われます。私の主人や主人の両親は、昔何度か行ったことがあり、いつか孫を佐渡に連れていきたいと、義理の両親がよく話していました。私も「鼓動」のコンサートに行ったことがあるので、そのすごさは知っています。そんな中、コロナの影響により、今年のアース・セレブレーションは、オンラインでの配信という事で、自宅のテレビで見えていました。太鼓の響きわたる音・迫力・演者さん達の力強い演奏に引き寄せられ、改めて「鼓動」のすごさを感じました。いつか、家族で佐渡島へ行き生の「鼓動」の迫力を肌で感じたいです。

坂本 久代

(さかもと ひさよ)

おうし座



★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 8月号 『ひまわり』

小さな種からぐんぐん成長する姿が「どんどこ」で表現されていて、子ども達にしみやすい表現だと感じました。ひまわりは「太陽に向かって咲く」というイメージがあり、大きくて力強く、かわいい花は大好きです。

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

娘が年中組の時から楽しみにしていた和太鼓が年長組になりついに始まりました。いざ挑戦してみると難しく投げ出したいくなる気持ち、弱気になって泣く姿を近くで見えていました。その度に「頑張る！」という娘！

夏休みに入り、一生懸命に練習して間違わずに出来て喜ぶ姿を見て、一緒に喜びを感じることが出来て、感動し改めて子どもの努力は素晴らしいと思いました。



宇賀神 朋美

(うがじん ともみ)

おひつじ座

★園児が購読している8・9月の絵本★

えほんのいりぐち 8月号 『ひまわり』

ちいさな種からひまわりが少しずつ成長していく様子が描かれています。“どんどこ どんどこ”と繰り返しの言葉の絵本ですが、繰り返しが好きな1・2歳児のお子さんは喜んで読める絵本だと思います。少しずつの成長に合わせて“どんどこ”の言葉を大きくながら読んでみたりしても楽しいかもしれませんね！

★最近感動したこと(出来事・本・テレビ・映画など…)★

コロナ禍という事もあり、家族皆で自宅で過ごすことが多かった夏休みでした。学校・部活・習い事と子ども達もそれぞれ忙しく最近はなかなか長時間一緒に休みを過ごすことがなかったので、何か家族全員で楽しむことをしよう！と自宅のテラスでBBQをしました。

数年前なら全て親の私達が準備～片付けを主になり動き、楽しんだ後の片付けが…(泣)という状況でしたが、今回は体もとても大きくなった小6の息子が積極的に働き、重たいものを進んで運び、鉄板など油汚れは中3の娘が！！あっという間に片付けが終了でした。“感動したー！”とまではいきませんが(笑)頼もしくなったなあ。と子ども達の成長を嬉しく思える事のできる夏休みでした。



市川 瑠美

(いちかわ るみ)

おひつじ座